




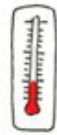


お花の栽培シリーズ「ダスティーミラー」

2011年11月	霜月(しもつき)・雪待月(ゆきまちづき)・霜降月(しもふりづき)・冬半(とうはん)・仲冬(ちゅうとう)・神楽つき(かぐらづき)	●霜対策と越冬対策を行う時期
<p>●朝夕は肌寒いけれど、日中はおだやかな晴天が続きます。さまざまな木々の効用が目をたのませてくれます。</p> <p>●冬に向けて防寒対策をしっかりと行い、植物の保護を忘れずに!</p>		
庭木の作業	<p>・落葉樹の植えかえが下旬から可能になります。葉がすっかり落ちて、休眠にはいったらはじめましょう。</p> <p>・落葉樹の手入れは、落葉後にとりかかります。常緑樹には手をつけてはいけません。</p>	
草花の作業	<p>・10月下旬から、ユリの球根の植え付けが適期となります。</p> <p>・秋まきした苗や、植えかえしたばかりのものはビニールなどで覆い、風や霜を防ぐ。</p>	

今月の誕生花	オンシジウム	
今月の花	花言葉/可憐・気立てのよさ・いっしょに踊って・協調・蕾のままできて清楚・野心的な愛	
	<p>オンシジウムはラン科の多年草。原産地は熱帯から亜熱帯アメリカ。季節は8～12月。花の色は、ピンク、黄・オレンジ、白、褐色、覆輪・底白。</p> <p>オンシジウムは明治時代に渡来してきましたが、当時は華やかな花でなくあまり普及していませんでした。1980年代から切り花として輸入され、また品種改良もあって注目を浴びるようになりました。</p> <p>属名のオンシジウムはギリシャ語の「ogkos(瘤)」という意で、唇弁のつけ根に瘤状の突起があることによります。英名は優雅にスカートを広げて踊っている姿に似るので「dancing lady orchid(ダンシング レディー オーキッド)」。</p>	

お花の栽培シリーズ

今月の花 ダスティーミラー

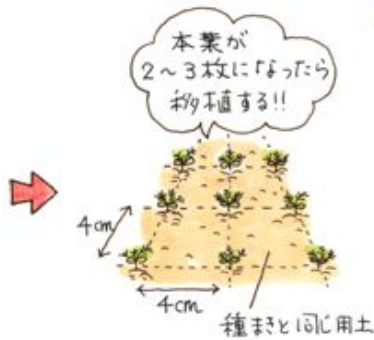
<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>ふつう</p>	<p>気温</p>  <p>15～25℃</p>	<p>草丈</p>  <p>40～60cm</p>	<p>花色</p>  <p>黄</p>
--	---	---	--	--

白銀色に輝く葉が美しい草花で、年間を通して楽しめます。キクの葉形の葉の表面には、白い綿毛が密生しています。白い葉を生かして、花壇や鉢植えの縁取りやアクセントにします。どのような花色とも合うことや、カントリー風の容器や飾り付けに似合うため、コンテナやハンギングバスケット、フラワーアレンジなど、幅広く利用されています。植えつけは11月に行います。充分日に当てないと、ダスティミラーの特徴である白い綿毛が十分に伸びません。また、草丈も間伸びして、恰好悪くなってしまいます。一日中日の当たる、風通しのよい場所に植えつけるようにしましょう。黄色の花が咲きますが、とても小さく園芸ではもっぱら葉を觀賞用に用います。葉を十分に楽しむためには、花が咲く前に摘芯して、株を充実させます。



●種まきからの育て方

【種まき】



【鉢上げ】



★葉と葉がふれるようになったら1本ずつ植えます

●植えつけのやり方



砂糖菓子みたいなダスティミラー・・・X'masバージョンの寄せ植えなどにぴったりです!!!




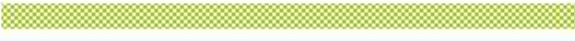


美しい葉を楽しむには・・・



すえが枯れてきたら、深く切り戻して、株を再成する!!

花は、植えつけた年には咲きませんが、2年目の5～6月に咲きます。株が古くなると姿が悪くなるので、2年ごとに種から育てた苗に更新した方がよいでしょう。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期 											
設置場所	屋外の日当たりのよい場所											
水やり	4~5日1回	2~3日1回	表土が乾いたら与える(1日1回)						2~3日1回	4~5日1回		
肥料	元肥 ⊕											
害虫・病気	アブラムシの防除にオルトラン粒剤を散布する 											
作業	種まき  摘芯  植えつけ 